

2019年12月10日

報道関係者各位

株式会社ツムラ

2019年度ツムラ収穫祭 開催

～ 北海道の生薬生産団体 10年間で7倍に ～

株式会社ツムラ（本社：東京、社長：加藤照和、以下「当社」）は、2019年12月4日（水）札幌グランドホテル（北海道札幌市）にて、漢方製剤の原料となる生薬の北海道内の生産者の方々、地域行政のトップの方々に向けた「2019年度ツムラ収穫祭」を開催し、日頃の感謝と御礼を伝えました。



（医療法人社団金匱会診療所薬局長の針ヶ谷哲也先生による講演）



（挨拶する当社代表取締役社長 CEO 加藤照和）

当社は、北海道における原料生薬の生産・調達・調製加工・保管を行う拠点として2009年に「株式会社夕張ツムラ」を設立し、「薬用作物の栽培～生薬への加工～販売までを農業法人で一元化する『六次産業化』の推進」「障がい者や高齢者の自立就農支援を通じた、『農と福祉』連携による生薬生産の推進」に取り組んでまいりました。

国内の漢方製剤の需要拡大に伴い、設立当初4団体であった生薬生産団体は2019年には29団体、生産農家数は69戸から110戸に拡大、契約栽培先である石狩市の障がい者一般就労支援施設「てみるファーム」で生薬栽培に携わるスタッフ（障がい者）は2010年の6人から現在21人、施設職員を含めると32人に拡大しました。また3人でスタートした夕張ツムラの従業員も2019年には65人に増え、地域振興と雇用拡大に貢献しています。

「2019 年度ツムラ収穫祭」では、夕張ツムラが設立 10 周年を迎えたことと、北海道が当社における国内最大の生薬栽培地であることから、今年度の開催地を北海道とし、生産者の代表者や JA・生産団体の皆様、ならびに鈴木直道北海道知事（元夕張市長）、厚谷司夕張市長、前田康吉滝川市長、加藤龍幸石狩市長、横田隆一千歳副市長など、計 107 人に出席いただきました。

講演の部では、生薬の国内生産拡大に向けた機械化・大規模化への取り組みなどについて当社より報告を行い、続いて医療法人社団金匱会診療所薬局長の針ヶ谷哲也先生による「漢方治療に必要な北海道産の生薬」と題した講演を行ったほか、懇親会では生産者の方々同士で、栽培方法や病害虫防除などの情報交換も行われるなど、質の高い生薬の栽培へ理解を深めていただきました。

鈴木北海道知事は挨拶のなかで、この 10 年間にわたる夕張市をはじめとする地域行政と当社との取り組みを振り返るとともに、今後の薬用作物・生薬の栽培、生産の拡大へ向けてさらなる期待を寄せられました。

当社は、「漢方の品質は畑から」という信念のもと、原料となる生薬の品質や安全性を保証するためには産地や生産工程を明らかにすることが必要と考え、植え付けから農薬や肥料の使用、収穫、加工までをカバーする生産標準と、生薬生産工程ごとの詳細なチェックリストを規定し、それらの遵守・運用ができる生産団体からのみ生薬を調達しています。

これからも患者様にとって価値ある医薬品を提供できるよう、独自の「一貫した原料調達・製造販売体制」を確立し、均質性に優れた漢方製剤の安定供給を通じて、国民の医療と健康に貢献してまいります。



(株式会社夕張ツムラ 本社)



(株式会社夕張ツムラ 滝川農場の蘇葉の畑)

問い合わせ先 : 株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ (瀬戸、高橋)
Tel 03-6361-7100 Fax 03-5574-6630